

WEDDING REPORT

February 11, 2021 / Wedding attendance: 挙式 + 披露宴 79
AKASAKA Applause Square



たるま Wedding

～希望の光 結婚式から生まれる未来への願い～

STORY

二人の「新たな決意とスタート」をゲストへ届ける“始まりの日”
ゲストに願いや希望、明るい想いを届けたい。
コロナ禍で暗いニュースが続く今だからこそ、明るく笑顔に包まれる希望に満ちた一日を過ごしてほしい。
二人の想いが幸せの形となり、二人の幸せがゲストを勇気づける特別な時間となる。
感謝の想いを届け、ゲストに近く感じられる、笑顔あふれる一日。
古くから続く日本の伝統の1つ。縁起をかつぐ幸せアイテムとして“だるま”でつなぐ二人の願い。
二人の明るい未来への願いと、ゲスト一人一人の願いを“だるま”に込めてこれから先の未来が、ずっとずっと笑顔で迎えられるように。
輝く明るい未来に幸あれ！

PRODUCER

Taichi Sakama

【不動心】

学生時代の部活よりこの言葉を大事にしております。
どんな時もふれずに動じない、落ち着いた不動の心でいるように心掛けております。
WAPをしているからこそ、結婚式当日もなにが起きるかわからないため、どんな状況でもお客様の前ではしっかりと笑顔でご安心頂けるようにしております。
結婚式は何度も出来ないため、私からものになか新郎新婦にできることはないか どうすればより当日全力でお楽しみ頂けるかどうかを考えて一緒に“最幸”の結婚式を創っていきます。



BRIDE AND GROOM VOICE

すべてのゲストから本当にいい式だったとお褒めのお言葉をたくさん頂きました。
一番の希望だったゲストのみんなが楽しめる結婚式をすることができたこと、そして、両親が本当に喜んでくれたこと、このようなご時世でありながら、アブローズスクエア迎賓館で式を挙げることで、本当に幸せでした。
スタッフの皆様、そして、坂間様のおかげです。
結婚式当日まで一緒に準備を進めていただいた会場の皆様に、心から感謝しております。
本当にありがとうございました。



「だるま」～明るい希望に満ちた一日を願う～

だるまは その丸い形のため 転がってもすぐに起き上がる「起き上がりこぼし」

「七転び八起き」の精神で粘り強さを象徴

不屈の精神や諸願成就を祈願する縁起物として

昔から人々の生活の中に親しまれてきた

伝統ある「高崎だるま」



だるまの目入れには
「願いを込めて
片方の目を描く（開眼）
願い事が叶ったら
もう片方に目を入れる（満願）」



だるまといえば通常「赤」
二人の特別な意味をこめた「白」だるまには…

価値観の違う二人の新しい人生は お互いを尊重しあえるように
いろいろな色に染めて 人生を豊かに幸せを実らせる

コロナ禍の結婚式にびったりの目入れセレモニー
コロナで待ちに待った結婚式が叶う日に
大切なゲストと喜びを分かち合う
結婚式の夢を叶えるだるまとともに
結婚式の準備を進めてきた二人が諦めることなく結婚式を迎える

家族へ届ける感謝の時間

1 新郎中座のエスコートは 大好きな妹と



兄妹の仲睦まじい姿が両親の喜び

2 母からのラストバイト



3 新郎と妹 孫たちからのサプライズ



これまでの「ありがとう」と
これからの「よろしく」を言葉にして
嬉し泣きが祖母から妹へ 妹から両親へ
笑い涙で家族愛があふれる
素敵な時間でゲストの心もあたたく
家族を想い時間となる

PARENT'S VOICE

結婚式を行うことができるかでも心配でしたが、スタッフの皆様のおかげで、当日は安心して一日を過ごすことができました。

こんなに大変な中で、相談もたくさんあり大変だったと思いますが、ずっと二人を支えていただき、わがままを聞いてくださり、ありがとうございます。
息子の成長した姿、楽しそうにしている姿を近くで見ることができて感無量です。
本当に楽しい時間をありがとうございました。

